

県内の患者数

	今週	前週		今週	前週
インフルエンザ	↓ 0	6	百日咳	↓ 0	1
RSウイルス感染症	↑ 7	0	ヘルパンギーナ	↓ 47	69
咽頭結膜熱	↑ 37	36	流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	↓ 20	31
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	↑ 25	21	急性出血性結膜炎	→ 0	0
感染性胃腸炎	↓ 158	186	流行性角結膜炎(はやり目)	↑ 52	34
水痘	↑ 27	23	細菌性髄膜炎	↑ 2	0
手足口病	↓ 6	8	無菌性髄膜炎	↑ 1	0
伝染性紅斑(りんご病)	↑ 4	0	マイコプラズマ肺炎	↑ 7	5
突発性発しん	↑ 51	34	クラミジア肺炎	→ 0	0

報告が多い感染症

- 感染性胃腸炎
- 流行性角結膜炎(はやり目)
- 突発性発しん

●感染性胃腸炎は、報告数 158件(前週報告数 186件)と減少。地区別では、山鹿、人吉、有明に多く報告がみられます。年齢別では、1歳の32件を最多に幅広い年齢層からの報告です。

●流行性角結膜炎は、報告数 52件(前週報告数 34件)と増加。地区別では、熊本、有明、天草に多く報告がみられます。年齢別では、30歳代の10件を最多に幅広い年齢層からの報告です。

●突発性発しんは、報告数 51件(前週報告数 34件)と増加。地区別では、菊池、有明、水俣に多く報告がみられます。年齢別では、6～11ヶ月齢の26件を最多に主に1歳以下からの報告です。

◆◆◆保健所別発生状況(インフルエンザ・小児科・眼科・基幹定点)◆◆◆

保健所名	インフルエンザ	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎
熊本市保健所		3	21	9	38	4	1		16		3	5		47	1	1	5	
山鹿保健所					19			1	2			1	*	*				
菊池保健所		1	11	3	13	1			11		5							1
阿蘇保健所					2								*	*				1
御船保健所					2								*	*				
八代保健所				1	15	10		3	3		5	2						
水俣保健所					4	1	1		3		1		*	*				
人吉保健所					18				1		10		*	*	1			
有明保健所		3	1	3	28	10	2		9		8	2		2				
宇城保健所			1	4	15	1	2		2		5	3		1				
天草保健所			3	4	4				4		10	7		2				
計	0	7	37	25	158	27	6	4	51	0	47	20	0	52	2	1	7	0

◆◆◆年齢別発生状況(インフルエンザ・小児科・眼科・基幹定点)◆◆◆

インフルエンザ定点	合計	0～5ヶ月	6～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳以上
インフルエンザ	0																				
小児科定点年齢	合計	0～5ヶ月	6～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20歳以上						
RSウイルス感染症	7		1	6																	
咽頭結膜熱	37	2	1	3	3	5	4	7	4	4		2	2								
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	25			1		2	1	5	2	2	2	2	1	2							
感染性胃腸炎	158	5	17	32	17	14	10	5	3	6	8	7	9	6	19						
水痘	27		5	3	5	4	8	1			1										
手足口病	6		2	2	1	1															
伝染性紅斑	4			1		2	1														
突発性発しん	51	3	26	20	1	1															
百日咳	0																				
ヘルパンギーナ	47	1	9	14	6	5	5	1	1	1		1	2								1
流行性耳下腺炎	20			2	4	4	4	1			1	1	1		2						
眼科定点年齢区分	合計	0～5ヶ月	6～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	
急性出血性結膜炎	0																				
流行性角結膜炎	52	1	1	2	1	2	2	1	1	3		1	1	2	7	10	8	6	3		
基幹定点年齢区分	合計	0歳	1～4歳	5～9歳	10～14歳	15～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70歳以上				
細菌性髄膜炎	2								1			1									
無菌性髄膜炎	1		1																		
マイコプラズマ肺炎	7		1	2	3		1														
クラミジア肺炎	0																				

**大きな流行が発生
又は継続しつつある地域**

- 咽頭結膜熱：菊池
- ヘルパンギーナ：天草
- 流行性角結膜炎：熊本

流行性角結膜炎(はやり目)が急増中!

【流行性角結膜炎が急増中です。】

今週の報告数は52件で、先週の34件から大きく増加しました。流行性角結膜炎は増加傾向にあり、過去3年間で最多の報告数となっています。保健所別では、熊本市を中心に増加しており、熊本市は第32週以降、警報レベルを超えています。

流行性角結膜炎は、夏を中心に発生が多く、白目の部分が赤くなる、涙が多く出る、目やにが出る、まぶたが腫れる、などの症状が出ます。両目に症状が出る場合が多いのですが、片方だけのこともあります。ある特定の型のアデノウイルスに感染することが原因で、ウイルスのついた手で目を触ることで感染(接触感染)することが多いので、手洗いが予防には有効です。

感染力が強く、感染した人の使用したティッシュペーパー、タオル、洗面器等からウイルスが広がります。赤ちゃんや小さなお子さんなどでは、重症化することがあります。症状の見られる場合には、早めに医療機関を受診しましょう。